「コロナ禍」における対応について

「コロナ禍」における九州（沖縄県）大会への参加に当たっては、大会に関わるすべての人々（大会役員・来賓・各県代表チーム選手・スタッフ・保護者等）は、開催県（沖縄県小連）の作成する以下の**「大会開催時の新型コロナ感染ガイドライン」**及び**「新型コロナ感染拡大防止特別措置」**を遵守する。

「大会開催時の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」

沖縄県小学生バレーボール連盟

選手の家庭で行う事

１．体調の確認

〇大会に参加する際は、以下の事を把握して下さい。

（１）当日の検温→37.5 度以上(微熱)の場合は参加できません。

（２）参加日前２週間における以下事項の有無を確認して下さい。該当する場合は、大会に参加できません。

①平熱を超える発熱　前述 1)同様

②咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状

③だるさ(倦怠感(けんたいかん)、息苦しさ(呼吸困難)

④嗅覚(におい)や味覚(あじ)の異常

⑤新型コロナウィルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

⑥同居家族や身近な知人に新型コロナウィルス感染が疑われる方がいる場合

⑦過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

⑧家を出て体育館コートに入るまでは、マスク着用させる。

観戦する御父母で行う事

２．観戦する場合の注意点

（１）体育館入館時、消毒液で手指を消毒する。(各チームで消毒液は準備して下さい)

（２）マスクを着用する。マスク着用が無い場合は入館できません。

（３）拍手等の伴う応援は禁止です。静かな観戦をお願いします。

（４）観戦する場合、お互いが密にならないように、ソーシャルディスタンスで間隔を空けて下さい。

３．競技に参加するに当たっての留意事項

チームスタッフ（監督・コーチ・マネージャー）

（１）部員の体調（顔色が悪い、咳がある、動きが悪い、呼吸が荒い　等）を注意深く観

察すること。

（２）前述の状況がある場合は、練習から外し、ご父母に連絡し退館してもらうこと。

（３）児童の状態によっては、病院に搬送してもらうこと。

（４）部員に指示する場合は、マスクを着用すること。（指示の無いプロトコール及び試合中はマスクを外しても良いこととします。タイムで指示する場合はマスク着用）

（５）大会当日チーム参加者で発熱者が発生した場合は、大会運営本部へ報告すること。

選手が守る事項

（１）大会参加前（２週間）に、必ず健康チェック（検温）してから参加する。風邪気味や体温が高い時は、練習・大会には参加しない。

（２）汗拭き用タオルは、個人用を持参する。他人の物は借りない。

（３）飲み物は、個人の水筒やボトルを持参し、他人との貸し借りはしない。

（体育館内の人全員です）

（４）アイシングバックは供用しない。

（５）試合以外は、マスク着用です。入館時、消毒液で手指を消毒する。

（６）試合中に外したマスクは各個人袋等に入れ保管する。※廃棄する場合は袋にいれ縛る。

（７）体育館シューズ・リュック等は離して置く。

（８）ウォームアップをする場合の注意点

①マスクは片付ける（熱中症予防の為）

②ランニング時の掛け声はやらない。

③ストレッチは密にならないよう間隔をあけてから（両手を広げて接触しない程度）行う。

④パス練習時は、大声を出さないようにする。

⑤試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においても密集・接触を避ける。

⑥点数を取った時でもハイタッチは行わない。

⑦ネット際での相手に向いた状態での発声は禁止です。

⑧試合開始時のチーム握手は行わない。アタックライン上で整列です。

⑨プロトコール開始時のキャプテン・審判への握手は行わない。挨拶だけとします。

⑩試合終了後の審判への感謝は、挨拶だけとし握手は行わない。

参加チームで行う事

（１）体育館入館時、手指の消毒を行う。（各チームで係を決めておく）

（２）試合中のコートチェンジ時、及び試合終了後は、自チームベンチの消毒を行う。

（３）チーム内のゴミは各チームで持ち帰る。※回収後は手洗い実施

（４）トイレ使用時のドアノブ、水洗トイレのレバー等の消毒と手洗いをきちんとする。
（５）大会終了後、会場を後にする時は、自チームがいた場所の消毒を実施する。（座席や手摺り等、接触の可能性がある場所）
（６）各会場に来られる全ての役員（運営員）・来賓・選手・ベンチスタッフ・父母は、「健康チェックシート」（沖小連 HP に掲載）を記入し、初日・二日目・三日目、共に各会場本部（主会場　事務局及び総務委員長、各小学校体育館は会場責任者）へチームでまとめて提出する事。

審判チームで行う事

（１）使用したホイッスルの消毒及び管理（供用しない）
（２）審判台及び接触カ所及びポール等の消毒実施。
（３）試合後に、使用した記録席テーブル、イス・ラインジャッジフラッグ・点数掲示用イスを持参した消毒液で消毒し拭き取る。
（４）記録係は鉛筆・消しゴムをチームで準備する事。（共有しない）
（５）消毒拭き取り用の雑巾の準備。

事務局で行う事

（１）マイクはビニール袋で包む。使用した機器は試合終了後消毒液で消毒しふき取る。（各会場で係を決めておく）
（２）各体育館入館時、運営関係者の手指消毒を行う。
（３）大会運営中の定期的な換気実施のアナウンス。
（４）消毒拭き取り用の雑巾の準備。

その他

（１）開催時期の「新型コロナ感染症」の県内の状況及び県・教育委員会の通知文に従い、その大会の具体的な**「大会開催時の新型コロナ感染拡大防止特別措置」**を作成し、それに準じて大会運営を行う。

名鉄観光カップ

第３６回全九州小学生バレーボール男女優勝大会 IN 沖縄

「新型コロナ感染症感染拡大防止に伴う特別措置」

沖縄県小学生バレーボール連盟

１．事前対策（事前指導及び確認事項の徹底）

（１）大会役員及び参加チーム（スタッフ・選手・保護者）は、安全な大会開催のために、沖小連 HP に掲載されている**「大会開催時の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」**及び**「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う特別措置」**及び**「熱中症対策」**を熟読、遵守する。

（２）九州各県小連理事長及び各チーム責任者は、参加チームへの事前指導を徹底しておく。

（３）大会参加者（選手・スタッフ・保護者・大会役員等）は、沖小連 HP に掲載されている**「健康チェックシート」**の項目に沿って、大会２週間前から健康状態をチェックし、いずれかの項目に該当する場合は、参加を禁ずるものとする。

体調不良・発熱等の症状はあるが、受診すべきか分からない、 受診方法が分からない場合 **沖縄県新型コロナウイルス感染症相談窓口（コールセンター）** TEL　０９８－８６６－２１２９（２４時間対応） ※陽性者と判明した場合は、速やかに所管の保健所へ連絡し、指示を仰ぐ。濃厚接触者は、保健所から連絡があります。 「陽性者」・・・・・保健所からの指示に従ってください。 「濃厚接触者」・・・保健所から連絡が入ります。指示に従って、PCR 検査を受けることになります。検査結果が「陰性」でも、保健所から指示された期間は、外出の自粛が必要になります。 ※尚、陽性者及び濃厚接触者に診断された場合は、速やかに、沖小連事務局及び所属地区連盟へ、必ずその旨の連絡を入れる。

※尚、「健康チェックシート」は、あくまでも、個人の参加を規定する目安であり、チームに該当者が出た際の、チームの出場を禁ずるものではない。

※２週間以内に、項目に該当する症状があって、医師の診察を受けた者で、医師によって、感染症との関わりが無いと診断された者は、その限りではない。

※濃厚接触者として認定された者は、大会への参加を厳に禁ずることとする。

２．大会当日

（１）大会運営全般（総務委員会）

①各試合会場（那覇市民体育館・豊見城市民体育館・西原町民体育館）の入り口及び本部席に、アルコール消毒液を準備する。

②朝、体育館に入館するすべての人は、事前に「健康チェックシート」（沖小連 HP に掲載）をチームでまとめて、当日、開催県（沖小連）事務局か総務委員長及び各会場副総務委員長に提出する。

③体育館に入館するすべての人は、入館時に、手指のアルコール消毒を行う。

※尚、各チームについては、チームで担当者を決めて、チームで準備したアルコールで消毒を行う。

※その後、館内に出入りするすべての人は、各チームで準備した消毒液で手指を消毒する。

④入館の際には、チーム責任者が、チームで持参した検温器（体温計）で、チーム関係者全員の検温を実施し、異常が無ければ入館する。

⑤入館している間は、全員、マスクを着用する。

⑥1 チーム当たりの体育館への入場人数を２０名以内（選手・スタッフ・保護者の合計人数）とする。

※試合又はセット毎に、ご父母（観戦者）を代えることは、可とする。

※尚、入館人数制限は、現在（１１／１）現在の判断であり、直近の「コロナ感染症」の状況によっては、無観客あるいは、制限無しもありうることを、何卒、ご理解下さり、ご協力をお願いします。

⑦観戦者は、チーム控場所の席（スペース）及び手すり等の消毒を行い退館する。

⑧試合会場の窓及びカーテンは、換気のため終日開放する。

⑨チームで昼食をとる際にも、可能な限り密を避けること。

※那覇市民体育館・豊見城市民体育館・西原町民体育館には、２日間にわたり看護師を配置する。

⑩２時間おきに、総務委員（会場責任者）が会場の巡視を行い、必要に応じて消毒を行う。

（２）競技上の対策（競技委員会）

①試合終了後のベンチは、使用したチームで椅子及びベンチ等の消毒を行う。

※消毒液及び拭きとる布は、チームで持参する。

②当該試合に関わる人（チームスタッフ・選手・審判・線審・スコア係・記録係・当該試合のチーム２０名以内の保護者・大会役員　等）以外の人は、入館できないものとする。

※試合終了後、次の対戦チームとの入れ替えをする。(アナウンスを入れる)

（３）審判上の対策（審判委員会）

①主審・副審含め、補助審判（線審・スコア係・記録係）を行うチームは、試合中、全てマスク着用(不織布マスクを推進)とする。

②試合開始前、次試合の担当審判員は、審判台・記録席・得点掲示椅子・ラインフラッグネット等を消毒し、手指の消毒を行う。また、記録用の筆記用具は、チームで準備する。

③線審をする際は、ゴム手袋（ビニール可、チームで準備）を着用すること。

④対戦中、コートの６名以外の選手は、マスク着用とする。ベンチスタッフは、対戦中はマスクを外してよいが、タイムアウト・プロトコール中は、マスク着用とする。

（４）その他＜熱中症対策＞

①喉が渇いていなくても、こまめに水分補給をし、熱中症対策に努めること。

②試合に関わらない選手児童は、体育館外の日陰で待機し、時々マスクを外したりするなど、熱中症対策に気を配ること。

③気分が悪くなったりしたときには、絶対無理をしないで、チームの、または近くの大人に伝えること。

④お友だちの様子をお互いに注意して見てあげて、変だと思ったら。チームの、または、近くの大人に伝えること。

３．事後対応

（１）各チーム責任者は、大会終了後、コロナ感染症の症状が出たと思われる場合、速やかに適切な対応をとると共に、各県理事長へ状況を報告する。

（２）大会終了後、各県理事長は、当該代表チームの情報を集約する。

（３）各県理事長は、当該県代表チームに、感染（陽性反応）が出た場合には、速やかに、九州小連理事長（八木田熊本県理事長）へ報告すること。

上記の事項を、参加者全員が遵守し、安全で、有意義な九州大会を開催しましょう！
ご協力を、よろしくお願いいたします。